

子育て・教育のつどい 2017



記念講演

子ども・学校があぶない！

～「教育再生」のわらいと子どもの権利～

よとりやまようすけ
講師 **世取山洋介** 氏

新潟大学教育学系准教授
「子どもの権利条約市民・NGO
報告書をつくる会」事務局長



異常な学力体制の下で、こどもたちも先生も苦しんでいます。
新しい学習指導要領では、道徳の教科化・早期の英語教育などが加わり、学ぶ内容どころか指導方法まで押し付ける異常さ…
私たちに何ができるかを話し合ってみませんか？ みなさんのご参加をお待ちしています。

日時

2017年 5月14日(日)

開会 10:00 (受付 9:30)

講演 10:30～12:00 分科会 13:00～16:00

場所

おかやま西川原プラザ 岡山市中区西川原 (JR西川原駅から徒歩1分)

第1分科会 今、岡山の教育は！？ 息苦しさの中身を探る

第2分科会 就学前の保育・子育て
～子ども・子育て新制度実施後の現実～

第3分科会 子どもの発達障害について考えよう

参加費(資料代) 500円

※高校生以下無料
保育対応します。※要事前申込

主催 子育て・教育のつどい2017実行委員会

問い合わせ 実行委員会事務局「おかやま教育文化センター」

☎ (086)238-7663 メール kakyoubun1037@feel.ocn.ne.jp

分科会のご案内

○第1分科会 「今、岡山の教育は！？ 息苦しさの中身を探る」

県下各地のとりくみを交流しましょう
みんなで語れば希望が見えてくる 力が湧いてくる

- ・息苦しい学校～不登校や引きこもる子どもたち
- ・テストをすれば学力は向上するの？
- ・岡山スタンダードって？先生に自由はないの？
- ・小中一貫校のねらいは？地域から学校が消える！
- ・高校に合格したけれど・・・お金が・・・
- ・子どもの貧困と格差の拡大は深刻！
- ・教員評価で給料が変わる！ 評価を気にして子どもが見えなくなる？
- ・先生の働き方は？
- ・いつまで講師にたよるの岡山の教育！ 結局、犠牲になるのは子どもたちです

○第2分科会 「就学前の保育・子育て…子ども・子育て支援制度施行後の現実…」

政府は2015年の新制度施行当初「新制度移行により子育て支援策を強化していく」としましたが、実施から2年が経過した現在、日本中で子どもをとりまく課題はますます大きくなっているのが現実です。

その中でも今1番の課題とも言えるのが待機児問題。「保育園落ちた日本死ね」のブログ以降、様々なメディアが取り上げるようになったこの問題ですが、解決どころか深刻さは増す一方です。それはなぜなのでしょう。

待機児問題をはじめ、認定こども園化、民営化、子どもがあふれる学童保育、貧困問題など、現場ではどのようなことが起こっているのか、各方面からの報告をもとに問題と課題、解決への道を探ります。

どんな子ども、どこに住んでいても、平等に育ちが保障できる社会にしていくために、子どもに関わる者はどんなことができるのか、参加者で一緒に考えましょう。

○第3分科会 「子どもの発達障害について考えよう」

昨年、第3分科会・相談コーナーで「発達障害の子どもへの支援」を担当いただいた湯澤美紀先生を講師にお迎えします。教職員や保護者からの多様な悩みに専門的な見地からの確かな助言をいただき、是非まとまったお話を聞きたいという声を受け、実現しました。発達障害をはじめ、LD、ワーキングメモリ理論などの理論と共に、具体的な子どもへの支援についてもお話しいただきます。「子ども理解」に基づいた発達・学習支援について学べます。



講師：湯澤 美紀さん（ノートルダム清心女子大学／人間生活学部児童学科准教授）

著書：ワーキングメモリと教育（北大路書房 共著）、ワーキングメモリと特別な支援（北大路書房 共著）

「子どもの健やかな育ちとは？」を常に抱えられながら、子どもの理解にもとづいた発達・学習支援のあり方を研究。現在、子どものワーキングメモリ、子どもの発達と絵本、保育研修、子どもの社会性の発達に着目した研究プロジェクトで、多彩な人たちのつながりと子どもたちのとの出会いから、日々新たな知見を生み出されています。